

# 都市再生整備計画

ね だ たち かわ  
贄田立川地区

きょうとふ うじたわらちょう  
京都府 宇治田原町

平成30年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	ウジタワラキョウ 宇治田原町	地区名	ネ、ダチカワ 糞田立川地区	面積	26.9 ha
計画期間	平成	30	年度	～	平成	34	年度
交付期間	平成	30	年度	～	平成	34	年度

### 目標

大目標 当該地区を新たな賑わいと活力を創出する「シビック交流拠点」として整備を進め、交流の拡大や新たな産業立地による雇用の拡大で、宇治田原町への移住定住が加速する様なまちづくりを図る。

目標1 誰もが利用できる憩いと交流の空間を創造し、同時に災害にも強いまちづくりを促進する。

目標2 公共サービスや住宅・商業・工業等の複合的な土地活用の誘導により、新たな産業、新たな賑わいを創出しまちの活性化を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・本町は、人口約9,700人、京都府の東南部に位置し、京都市都心部へは約20km、大阪市都心部へは約40kmの距離にある。
- ・昭和63年に今後良好な市街地を形成していくために、町域の約半分を都市計画区域とし、以後町内の都市整備の進捗に合わせ都市計画を見直し、当地区については、平成24年に砂利採取跡地の事業の進捗に合わせ、用途地域を指定し、計画的な土地利用の規制等を図ってきた。
- ・当地区は本町中西部に位置する元々は山林の地域であったが、昭和62年頃から隣接地での砂利採取がはじまり、その後当地区を含む約40haが採取地として拡大され現在に至る。
- ・当地区は平成28年度に砂利採取が終了し、現在は場内で復旧計画に基づき造成作業が行われている。
- ・平成28年3月策定の第5次まちづくり総合計画において、当地区を含む地域(約40ha)を公共公益施設等をはじめとした住民サービス機能と産業・工業機能の複合する「シビック交流拠点」とする方針を示した。
- ・現在の役場庁舎は昭和34年に建設され老朽化で耐震性能も低く、また敷地も浸水想定区域内にあるなど災害時における対策本部機能が脆弱なことから、移転建替えの方針を示した。
- ・平成28年度に役場庁舎の移転先を当地区の南東部とし、隣接に住民の一時避難場所や救援活動の場などに活用できる防災機能を兼ね備えた都市公園の建設も決定した。
- ・庁舎移転等に加え京都府の道路事業として、(都)宇治田原山手線の当地区までの区間が第1期事業区間として決定され、また新名神高速道路の平成35年開通など道路交通ネットワークも飛躍的に向上することが見込まれる。
- ・町内では「(都)宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議」が組織され、町人口を超える1万8千人の署名を集め、「宇治田原山手線」の早期完成を訴える等、住民が道路整備やまちづくりについて、積極的に関わる意識は醸成されている。

#### 課題

- ・少子高齢、人口減少社会が進む中、これからも本町が人々の経済活動の場、生活の場として飛躍していくためには、活力と魅力のある都市整備が必要である。
- ・鉄軌道の無い本町にとって、平成35年の新名神高速道路の開通は、生活の利便性の向上や広域的な交流の活発化など、これまでのまちのあり様を変えるインパクトを持っており、当地区の整備をエポックメイキングとして、今後宇治田原町全域に波及させ、宇治田原町の未来につながるまちづくりとする必要がある。
- ・そのためには、賑わいや活力の創出の場「シビック交流拠点」の中核施設としてふさわしい庁舎、都市公園、子育て支援センター及びその周辺を一体的かつ効率的に整備する必要がある。
- ・現市街地は一級河川の田原川に沿って立地されており、浸水想定区域とされている箇所が多く存在し、また現役場庁舎自体が浸水想定区域に所在するなど、災害対策機能が相当脆弱であり、早期の対策機能の強化が求められている。
- ・誰もが訪れやすい「シビック交流拠点」となるよう、また町内に点在し、山間地ゆえに駐車スペースの無い観光スポットへのハブ拠点となるよう公共交通の対策を講じる必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

【宇治田原町第5次まちづくり総合計画】「土地利用の形成方針」…シビック交流拠点／公共・公益施設等をはじめとした住民サービス機能と産業・工業機能の複合する拠点整備を図ります。

【宇治田原町都市計画マスタープラン】「土地利用方針」…シビック交流ゾーン／公共公益施設等をはじめとした住民サービス機能と住宅・産業・工業機能の複合する拠点整備を図ります。

### 目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
防災イベントの参加人数	人	町主催で実施する防災イベントの参加人数	公園に防災機能を備え防災意識を醸成し防災イベントへの参加率を高める	300	H28	600 H34
避難スペースの確保率	%	当該計画区域における避難スペースの確保率	避難スペースの確保により、災害に強いまちづくりを目指す	0	H28	100 H34
子育て支援センターの利用人数	人	子育て支援センターの利用人数(従前値は旧施設の利用人数)	地区の整備により施設利用者が増え賑わいを創出する	5,000	H28	6,000 H34
企業誘致に係る補助制度申請件数	件	企業誘致に係る補助制度申請件数(町全域分)	地区の整備により企業立地が促進され補助制度の申請件数が増加することを旨とする	2社	H28	5社 H34

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針1 公園を活用し住民の憩いと交流の場、安心安全のまちづくりを促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民誰もが集える都市公園及びふれあい広場を整備</li> <li>○災害時の避難所や救援活動の場としても利用できる防災施設を公園内に整備</li> <li>○住民参画によるにぎわいイベントを開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基幹事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)ハートのまち公園整備事業(公園)</li> <li>・ふれあい広場整備事業(地域生活基盤施設)</li> <li>・防災施設整備事業(地域生活基盤施設)</li> </ul> </li> <li>□提案事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいイベントの開催(まちづくり活動推進事業)</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針2 基盤整備や公共サービス施設の整備で新たな産業立地や観光誘客等を図り、移住定住を促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業立地等に向け地区内の道路網を整備</li> <li>○親しみのもてる庁舎整備と観光誘客にも繋がる公共交通を整備</li> <li>○子育て環境の充実のため、子育て支援センターを新設</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基幹事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道南北線、賛田立川線、宇治田原山手線整備事業(道路)</li> <li>・(仮称)ハートのまち公園整備事業(公園)</li> </ul> </li> <li>○関連事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎建設事業</li> <li>・公共交通対策事業</li> <li>・子育て支援センター建設事業</li> <li>・宇治田原山手線整備事業(京都府)</li> </ul> </li> </ul>
<b>その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園等の計画については、広く住民の意見を取り入れ、住民との協働により事業を進めることとしている。</li> </ul>	



市町村決定計画及び市町村施行国道等事業に関する事項

※該当がない場合は本シートをつける必要はない

市町村決定計画

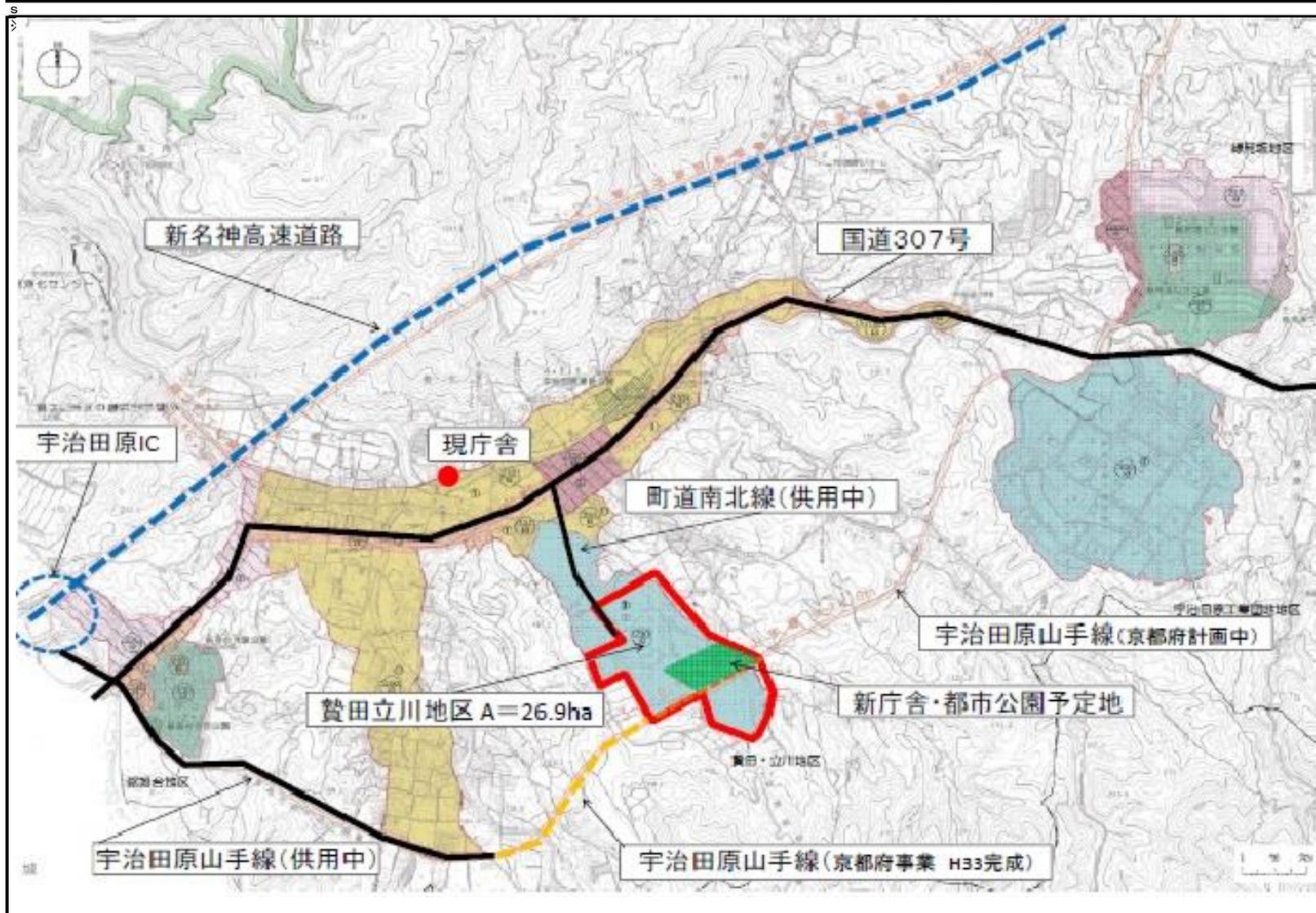
都市施設及び市街地 開発事業の種類	決定/変更	名称	その他必要な事項	変更の概要	都市再生整備計画の 公告(予定)年月日	都市計画の決定又は 変更の期限

市町村施行国道等事業

道路の種類	路線名	新設又は改築の内容
一般国道	国道307号(都市計画道路宇治田原山手線)	新設

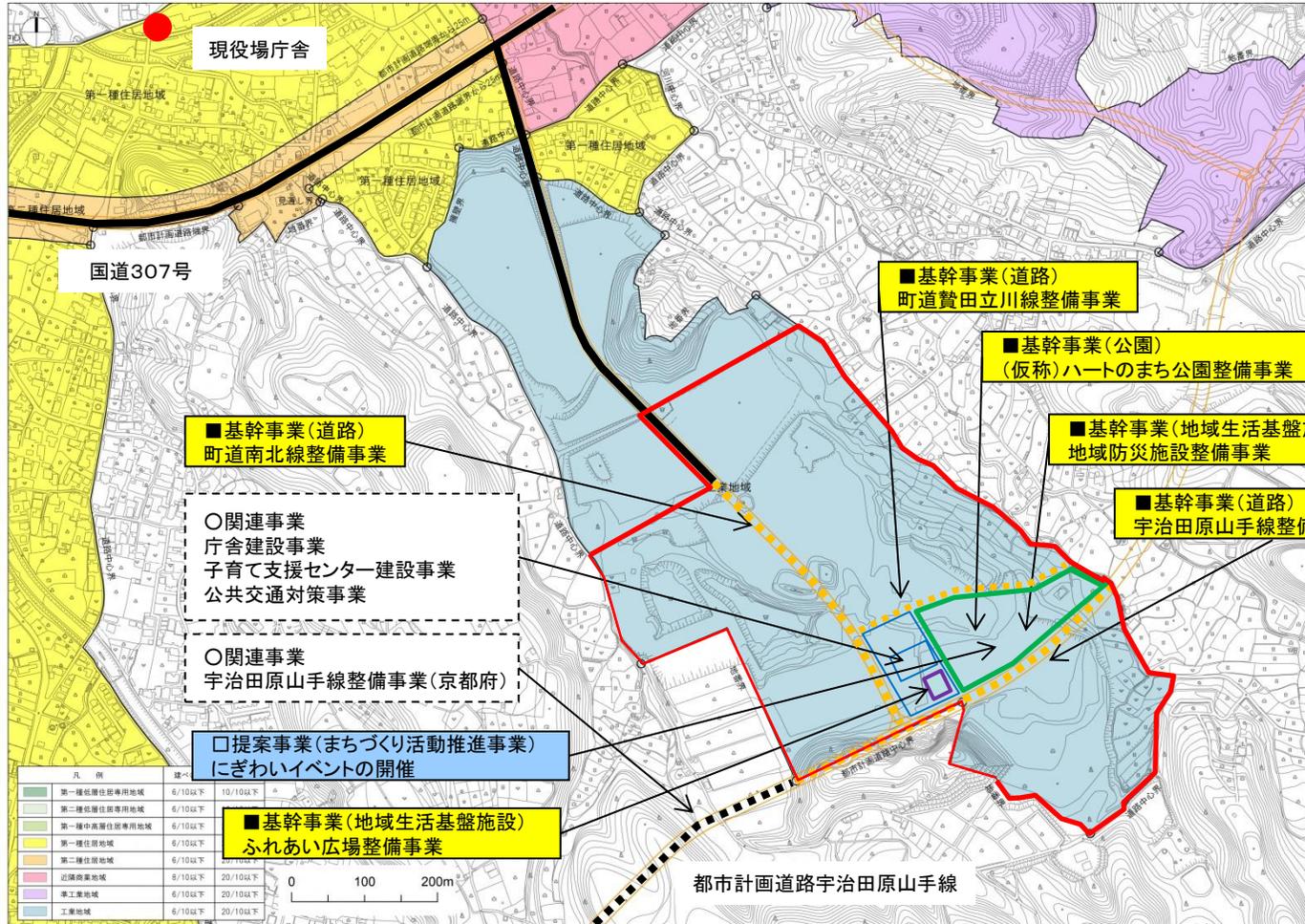
都市再生整備計画の区域

<p>賛田立川地区(京都府宇治田原町)</p>	<p>面積 26.9 ha</p>	<p>区域 宇治田原町大字賛田の一部、大字立川の一部</p>
-------------------------	-------------------	--------------------------------



## 贅田立川地区(京都府宇治田原町) 整備方針概要図

<b>目標</b>	大目標 当該地区を新たな賑わいと活力を創出する「シビック交流拠点」として整備を進め、交流の拡大や新たな産業立地による雇用の拡大で、宇治田原町への移住定住が加速する様なまちづくりを図る。 目標1 誰もが利用できる憩いと交流の空間を創造し、同時に災害にも強いまちづくりを促進する。 目標2 公共サービスや住宅・商業・工業等の複合的な土地活用の誘導により、新たな産業、新たなにぎわいを創出しまちの活性化を図る。	<b>代表的な指標</b>	防災イベント参加人数 (人)	300 (28年度)	→	600 (34年度)
			避難スペースの確保率 (%)	0 (28年度)	→	100 (34年度)
			子育て支援センターの利用人数 (人)	5,000 (28年度)	→	6,000 (34年度)



凡 例	
□ (Blue)	庁舎予定地
□ (Purple)	広場予定地
□ (Green)	公園予定地
□ (Dotted)	道路

凡 例	
■ (Yellow)	基幹事業
□ (Blue)	提案事業
□ (Dashed)	関連事業